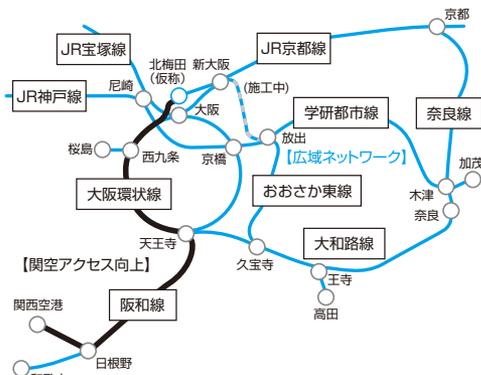


●東海道線支線地下化・新駅設置

大阪駅北地区のうめきたエリアでは、周辺地域との一体的なまちづくりが進められています。その西側を縦断している東海道線支線の梅田信号場(旧梅田貨物駅)では、まちづくりと一体となって約1.7kmの地下化工事が計画されています。地下化により、踏切の除却および交差道路の安全性向上が図られます。

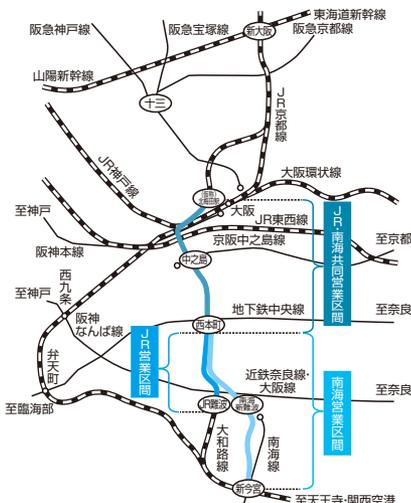
あわせて、大阪駅に近接して新駅(仮称:北梅田)を設置することで、関西国際空港へのアクセスおよび広域ネットワークの強化に大きく貢献することが期待されています。

2023年春の地下化と新駅開業をめざして工事を進めています。



●なにわ筋線

新大阪駅から大阪駅北側の(仮称)北梅田駅を経て、大阪市内を南北に走る道路「なにわ筋」の地下を通り、難波付近までを結ぶ新路線の構想です。新大阪～(仮称)北梅田駅間については現在、当社が東海道本線の支線(貨物線)の地下化工事を進めており、新たに整備する区間は(仮称)北梅田駅～JR難波および南海新今宮駅間です。

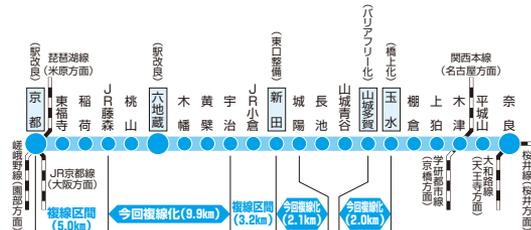


●奈良線第2期複線化事業

奈良線はこれまで1期複線化(京都～JR藤森、宇治～新田間)や新駅設置などの輸送改善により着実にご利用が増加してきましたが、単線区間の存在による定時性の確保などの課題も残されています。

2期複線化事業では、沿線自治体のご協力を得ながら、「JR藤森～宇治」、「新田～城陽」、「山城多賀～玉水」の計14.0kmの複線化を行います。今回の複線化で、ご利用者の多い「京都～城陽」間は全て複線となり、奈良線の更なる利便性向上、安全・安定輸送を実現できるものと考えています。

また、複線化事業にあわせて、駅ホームの安全性向上などを目的とした京都駅と六地蔵駅の駅改良や玉水駅の橋上化、山城多賀駅のバリアフリー化、踏切保安度向上のための3次元レーザーレーダ式障害物検知装置、踏切警報時間制御装置(通称:賢い踏切)の整備など、線区全体で安全性を高める取り組みも行います。複線化事業は、2023年春の開業を予定しています。



●新駅設置

当社では、駅を核とした地域のまちづくりに寄与するとともに、お客様の利用しやすい輸送機関となるよう、新駅設置工事を進めています。



	線名	駅間	設備概要	開業予定
①	嵯峨野線	京都 丹波口	高架下駅舎相対式ホーム2面	2019年春
②	東海道支線	新大阪 福島	地下駅舎島式ホーム2面	2023年春
③	大和路線	奈良 郡山	高架下駅舎相対式ホーム2面	未定



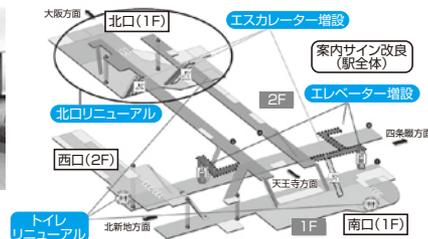
① 梅小路京都西駅

【デザインコンセプト】

「梅小路公園および京都駅西口エリアにある観光の玄関口の駅として、地域との連携を育むデザイン」を基本コンセプトとしました。駅舎が公園と調和し地域のシンボルとなるようにホームの外壁や入口部を曲面にするとともに、京都らしい色彩計画を取り入れた駅デザインとしました。

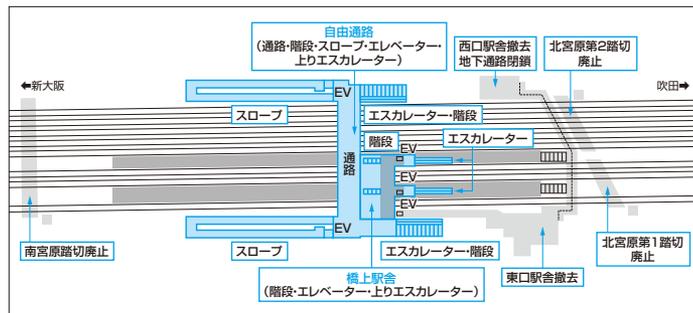
●京橋駅改良

京橋駅では、築35年を迎えた北口駅舎の商業施設やお客様トイレを含めた全体的なリニューアル、エレベーター・エスカレーターの増設によって、お客様の利便性を向上させるべく、2017年8月から改良工事を進めています。



●東淀川駅橋上化

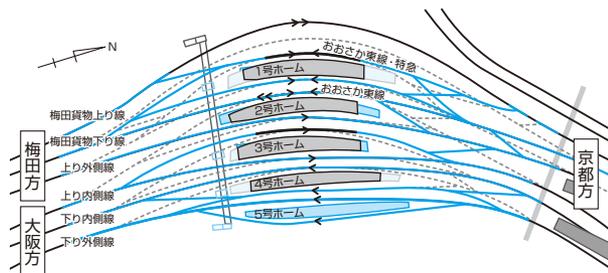
JR京都線東淀川駅前後に位置し、当社管内で遮断時間が最も長い南宮原踏切、北宮原踏切を廃止し、東淀川駅を橋上化します。大阪市との共同事業として、踏切の代替となるバリアフリーに対応した自由通路(幅員6メートル)を整備します。また、既存の駅構内3線橋を活用し、自由通路に接続する橋上駅舎(当社事業)を整備することで、快適にご利用いただきやすい駅になります。2018年末頃に施設の供用開始にあわせて、踏切の廃止を予定しています。



●新大阪駅改良

新大阪駅では、利便性の高い快適な駅をめざし、構内配線変更、在来線のコンコースや出改札のリニューアル工事を進めています。

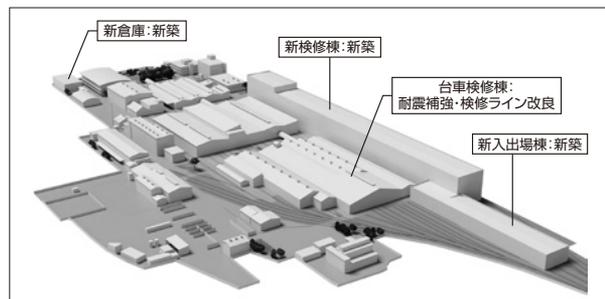
おおさか東線北区間工事に伴う構内配線変更の工事では、東側のスペースに1面2線の5号ホームを新設し、順次線路切換とホーム休止を繰り返すことにより、施工箇所を西側に切り換えていきます。最終的には一番西側のホームにおおさか東線の列車が発着することになります。ホーム休止時には、ホームの段差解消、エスカレーター新設、美化化など、改良工事を行っています。



●吹田総合車両所リニューアル

吹田総合車両所は、近畿エリアを中心とする優等車両、通勤近郊車両の検査を担当しています。

しかし、創設から約100年が経過し建物等の老朽化が進んでおり、また、新世代車両に対応する設備ではないため、大規模な設備更新を行うとともに、新世代車両の特徴を活かした新たな検修（検査および修繕）ラインにリニューアル致します。



■広島エリア関連プロジェクト

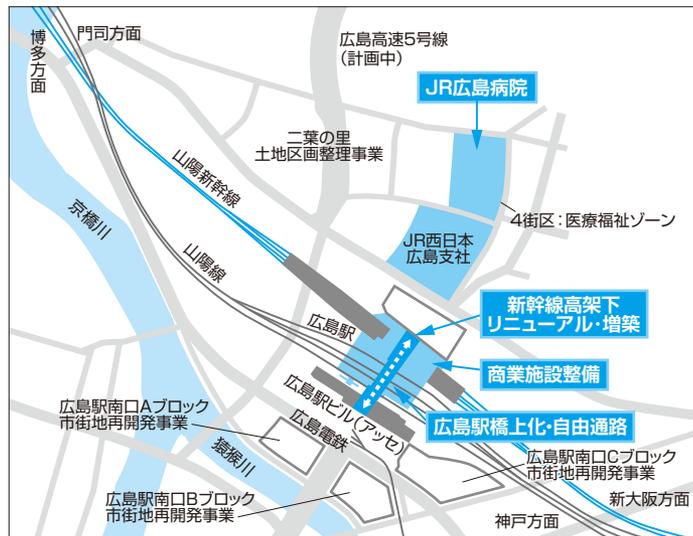
広島エリアでは、まちづくりと一体となった新駅設置や駅改良、また、広島駅周辺の拠点性向上を目的としたプロジェクトを行っています。

●広島駅橋上化・広島鉄道病院新築移転

広島駅では、周辺の土地区画整理事業などあわせ、駅の橋上化、南北自由通路の設置および店舗の増床などの一体的整備を行っています。

2017年10月には南北自由通路全面使用開始と線路上空部店舗を開業しました。引き続き、新幹線高架下リニューアル、商業施設整備を進めています。

また、地域の中核病院として、より質の高い医療を提供すべく、2016年4月に医療法人JR広島病院を開院しました。



■大阪環状線改造プロジェクト

当社グループでは、大阪環状線のイメージアップとお客様満足度向上を図るため、「安全快適な駅づくり（駅美装・改良）」「駅構内および高架下の開発・リニューアル」「車両新製」「地域や他交通事業者との連携」を4つの重点施策とし、さまざまな施策を展開しています。大阪環状線を「行ってみたい」「乗ってみたい」線区に改造し、地域とともに、大阪を元気にします。



大阪環状線改造プロジェクト

●安全快適な駅づくり（駅美装・改良）

大阪環状線全駅の美装・改良を進めています（内容は駅ごとに異なります）。

森ノ宮駅・桃谷駅に続き、玉造駅・京橋駅も駅全体のリニューアル工事を進めています。



京橋駅（イメージ）

●トイレ改良

駅美装・改良の中でもトイレ改良を重点項目と位置づけ、集中改良を進めています（2018年7月末時点で17駅22箇所改良済）。改良にあたっては、「暗い・臭い・汚い」の解消を基本とし、社会環境の変化もふまえた快適なトイレ空間をめざしています。

大便器の洋式化・温水洗浄便座化をはじめ、換気機能強化、照明LED化、便座クリーナーや手洗い用石鹸などの設置、ベビーチェアの設置、入口サイン改良などを進めています。



リニューアルした多目的トイレ

●駅構内および高架下の開発・リニューアル

大阪環状線の駅構内や高架下などの魅力向上をめざして、駅美装・改良に合わせ、駅やエリアごとの特性、お客様ニーズを捉えた商業開発を推進しています。

森ノ宮駅高架下の「ピエラ森ノ宮」（2013年）に続き、玉造駅に「ピエラ玉造」（2014年）、桃谷駅に「ピエラ桃谷」（2016年）を開業しました。



大阪環状線で長く親しまれてきたオレンジ色の103系車両をモチーフにしたデザインの「ピエラ玉造」

●車両新製

2016年度から、初めての大阪環状線・JRゆめ咲線の専用新型車両「323系」を順次投入しています。323系の開発にあたっては、輸送品質の確保と先進的なサービスによる快適性の向上と大阪環状線のイメージアップを図るため、「安全・安心の向上」「機器の信頼性向上（安全輸送）」「情報提供の充実」「人に優しい快適な車内空間」をコンセプトとして定めています。

●車両仕様

形式	／	323系
代表的編成	／	8両
編成総定員	／	1,197人
編成座席定員	／	372人
最高速度	／	100km/h
扉枚数	／	片側3扉

車両の概要
安全性とサービス水準を高めた大阪環状線・JRゆめ咲線用車両。



●地域や他交通事業者との連携

沿線地域も含め、線区として価値を向上するため、大阪市・区や大阪環状線と結節する他交通事業者とも連携を強化しています。

●他交通事業者との連携

Osaka Metro（大阪地下鉄）と連携して案内表示を分かりやすく改善します。また、大規模災害などの異常時対応においても、連携を強化していきます。

※その他の鉄道事業者とも、案内表示の連携などを検討していきます。

●まちの美観促進・魅力発信

地域の皆様と連携し、沿線地域の一部となっている高架下などの鉄道施設の美化によるまちの美観促進に取り組んでいます。



福島駅での高架下アート

●発車メロディ

大阪環状線では、お客様や地域の皆様に大阪環状線やその沿線のまちに愛着を感じていただけるよう、「その駅（まち）らしさ」「大阪環状線らしさ」「大阪らしさ」をテーマに、駅毎に異なる発車メロディを採用しています。

（敬称略）

大阪駅	やっば好きやねん／やしきたかじん	天満駅	花火／aiko
福島駅	夢想花／円広志	桜ノ宮駅	さくらんぼ／大塚 愛
野田駅	一週間／ロシア民謡	京橋駅	ゆかいな牧場（大阪うまいもの歌）／アメリカ民謡
西九条駅	アメリカンナイトロール／アメリカ民謡	大阪城公園駅	法螺貝／オリジナル
弁天町駅	線路は続くよどこまでも／アメリカ民謡	森ノ宮駅	森のくまさん／アメリカ民謡
大正駅	ていざくぬ花／沖縄民謡	玉造駅	メリーさんのひつじ／アメリカ民謡
芦原橋駅	祭／芦原橋太鼓集団「怒」作曲	鶴橋駅	ヨーデル食べ放題／桂雀三郎withまんぶくプラザーズ
今宮駅	大黒様／文部省唱歌	桃谷駅	酒と泪と男と女／河島 英五
新今宮駅	交響曲第9番「新世界より」／ワルザーク作曲	寺田町駅	Life Goes On／韻ジスト
天王寺駅	あの鐘を鳴らすのはあなた／和田 アキ子		

■TWILIGHT EXPRESS みずかぜ 瑞風

京都や松江、出雲、宮島などの豊かな歴史・文化。日本海や大山、瀬戸内海の多島美などの美しい自然。西日本には、日本の原風景とも呼べる場所がたくさんあります。ホテルのような上質さと心休まる懐かしさを感じる列車で、この国の素晴らしさを再発見していただく。美しい車窓の眺め、一流の食の匠による料理、洗練された車両、そして沿線の魅力…。TWILIGHT EXPRESS 瑞風は、ここでしか味わえない特別な鉄道の旅をご提供いたします。

(ウェブサイト) <http://twilightexpress-mizukaze.jp/>



●ネーミングとロゴマーク

瑞風とは「みずみずしい風」のことであり、吉兆を表すめでたい風という意味も併せ持ちます。「瑞穂の国」と呼ばれる美しい日本に、新しいトワイライトエクスプレスという風を運んでくる、そんな情景をイメージしました。

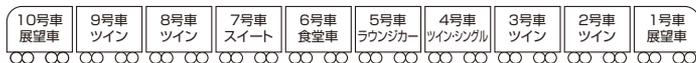
ロゴマークは、MIZUKAZEの“M”を山並みに見立て、吹き抜けていく風をトワイライトエクスプレスの象徴である天使で表現しました。



●車両

●編成

ザ・スイート1両、ロイヤルツイン・ロイヤルシングル1両、ロイヤルツイン4両、食堂車1両、ラウンジカー1両、展望車2両(編成両端)からなる10両編成です。



●動力方式

ハイブリッド方式(ディーゼル発電機で発電した電力とバッテリーアシストによるモータ駆動)です。

●客室

3クラスの客室(ザ・スイート、ロイヤルツイン、ロイヤルシングル)を設け、定員は最大34名です。

●展望車

空まで望むことができる開放的な展望室から雄大な景色や星空といった車窓をお楽しみいただけるとともに、展望デッキでは沿線の風を感じていただけます。



展望デッキを含むエクステリア

●世界有数の客室

世界的にも希少なザ・スイートの客室は1両1室の広いスペースとし、プライベートバルコニーやバスタブ付きの本格的なバスルームを設置しています。

●日本での建築、工業デザイン、食事の第一人者が監修

京都迎賓館をはじめホテルや迎賓施設に携わってきた「浦一也」氏、新幹線をはじめ鉄道車両のデザインを手がけてきた「福田哲夫」氏や、食の権威で和洋問わず食の造詣が深い「門上武司」氏に監修していただきました。

●運行開始

2017年6月17日(土)

●日程

1泊2日の片道タイプと2泊3日の周遊タイプをご用意し、1日1回立ち寄り観光を実施します。

●始発・終着駅

大阪・京都、下関の各駅から始まり、下関、京都・大阪(一部は新大阪)に至ります。

●運行ルート・コース ※状況により、変更する場合があります。

山陰本線経由と山陽本線経由、計5コース

●山陰コース 1泊2日 片道タイプ

(下り)



(上り)



●山陽コース 1泊2日 片道タイプ ※2018年12月より南岩国駅から岩国駅に停車駅が変更となります。

(下り)



(上り)



●山陽・山陰コース 2泊3日 周遊タイプ

